

18歳の教養学部

“教養”とは、とは、心や考え方に広がりを与えるもの、興味を持って調べた知識や考えたこと、無駄な学びはないと気づくこと。最終講義の今回も、教養について考えていきましょう。



ファッション × 言語

[自己と他者を知る楽しみ]

野織
中香

Nakano Kaori

[PROFILE]

1962年生まれ。明治大国際日本学部特任教授。服飾史家、エッセイスト。東京大大学院総合文化研究科博士課程単位取得。『モードとエロスと資本』、『愛されるモード』など多数の著書のほか、新聞や雑誌でコラムを執筆。また、ファッション用語を専門とする『英和ファッション用語辞典』を監修。

ファッションには、時代の空気を形にし、新たな時代の流れをつくり、それを後押しする力がある。社会の動きや変化を考える切り口の一つとして、また、自分を表現する手段として、「ファッション」が持つ多面性に触れてみよう。

ファッションは、
時代の空気を形づくるもの

皆さんは今、どんな格好でこのヘー
ジを開いているでしょうか？ 気分と
服装はマッチしていますか？ 今日、
「ファッション」が社会の様々な動きや
変化とつながっていること、また、皆さ
んの価値観や姿勢を示す言語のよう
なコミュニケーション手段であること
について、お話をしたいと思います。

さて、「ファッション」とはなんで
しょう？ 語源であるラテン語
(*factio* *nem*)には「形づく
ること」という意味があり、私は「時
代の空気を形づくるものがファッ
ションである」ととらえています。衣
装だけでなく、言葉遣いや振る舞い
も含まれますし、インテリアなど形
あるものすべてがファッションです。



明治太の授業で、ファッションチェックを求める学生には、「100年前ならNGファッションだよ」と、美意識の変化をさりげなく伝える。「美とは何か」をちゃんと考える習慣をつけてほしいから。

女性の社会進出を促した タキシードルック

「ファッションが時代の空気を形づくる」例としてわかりやすいのが、1966年のイヴ・サンローランのタキシードルック（P. 53上の写真参照）。今では女性のパンツスーツは当たり前ですが、当時は、女性が二股に分かれたパンツをはいて公の場に出ることはタブー視されていました。けれど、サンローランは「女性が社会に出ていこうとしている」という時代の空気を読んで、形にしたわけです。そうした装いが増えることで、女性の社会進出がより促され、時代のムードは女性解放へ向かっていきました。このように、ファッションには、時代の空気を形にし、新しい流れをつくり、それを後押ししながら私たちの価値感を転換させる——時として、緩やかな革命を社会にもたらす力があるのです。

最近では、男性のスリムスーツ。もともと男性のスーツは、威厳や貫禄かんりくを与えるような形に仕立てられています。10年ほど前にテイオール・オムのエディ・スリマンという人が、従

来の常識を覆すような、肩パッドのない細身のスーツをつくった。それが、年を経るにつれジワジワと若い世代に浸透してきた感がありますね。背景には、「男同士で張り合わなくて……」「競争社会で勝ち上がるなんて……」といった、男性の意識の変化、時代の空気があると思います。

ファッションには 「心の構え方」が 反映される

ファッションは可視的なものです。衣服や髪形はもちろん、相手の目に入る自分の振る舞いやしゃべり方が、「自分はどういう人間なのか」を言語より雄弁に伝えることがあります。

アメリカの政治家は、ファッションをコミュニケーションの一つとして認識していて、ちゃんとファッション戦略の専門家を雇って研究しています。つまり、見る人・聞く人の身になって自分の話し方や振る舞いを考え、全身を使って自分をプレゼンテーションする。伝えたいことを、より好意的に受け止めてもらえるように努力する。そういう「心の構え方（モー



図書館や本屋、海外の大学には、日本ではまだ「誰もやっていないこと」が埋まっている。中野先生も、留学先のケンブリッジ大学の図書館で「日本にはない棚」を発見したので、現在ファッションの学問を突き詰めている。関心を持ち続けたいね感。ヒントは見つけ出すことができる。

ド」がファッションに反映されるわけです。大統領選でオバマ氏が勝利したのは、ファッション戦略の成功も大きく影響したと思います。見た目に気を遣う政治家は軽薄とらえられがちな日本とは、大きな違いですね。

察しのいい人は「これは、政治家に限らず自分にも当てはまるかも」と思ったことでしょう。その通り！人は、自分を見る他者の視線のなかで「心の構え方」が洗練されていきます。「私はこういう人間よ」と自分ひとりで思っている、周囲には伝わりません。皆さんがプレゼンテーションしたいことはファッションに反映される。その意味で、内面と外見は無関係ではられないのです。

ファッションによる強い圧力

ファッションには、また、同調圧力（少数派を多数派に合わせるよう強制すること）によって人々のメンタル面をコントロールする、という側面もあります。

例えば、戦時中の日本では、ちょっと華美な服装をすると非国民と言われました。イタリアのムッソリーニは黒シャツ党を率い、ドイツのヒトラーは部隊ごとに違う制服を着させるなど、ファシズム国家では制服が大きな影響を与えました。ドイツ映画の『エス』、『ウェーブ』には、制服の強制が集団への帰属意識を刷り込み、自ら制服色に染まるように強いていく怖さが描かれています。

戦争中はファッションどころではないと考えがちですが、服装に対する同調圧力とファシズムの関係など、大きな問題があります。

めまぐるしく変わる流行にも、圧力作用は見られますね。皆さんのなかには、似たような格好ばかりの集団の中で違う格好をして居心地の悪い思いをした、という経験を持つ人もいるでしょう。そういう時は、流行に身を任せながら、自分と違うものを否定しようとする人間心理を観察して、笑い飛ばすのが一番ですよ（笑）。



ファッションには自分を表現する言葉や記号の役割もある。先に大学で学んでいる先輩たちの気づきを聞いてみよう。

服装が

立場や役割を表す

ナース服に似た実習着を着て病院に実習に行くと、患者さんからは医療従事者と見なされます。学生だから、ということとは通用しません。つくづく、服装は立場・役割を表すものだなあと実感します。(北海道大/医学部/S-A先輩)

時代によって

反映される美意識は異なる

感性についての授業で、ファッションの変化について学びました。時代によって美意識が違うなど、ファッションに、どんなことが反映されていたのかわかって興味深かったです。(熊本大/工学部/T-S先輩)

場所によって

記号の意味が変わる

フランスでは、イスラム教の女性のスカarfが政教分離に反するとして、学問の場でのスカarfの着用をめぐる問題が起きています。個性の表現や集団の記号としての服や小物が、場所によって異なる意味を持つことがあるのだな、と思いました。(東京外大/外国語学部/I-N先輩)

服装には

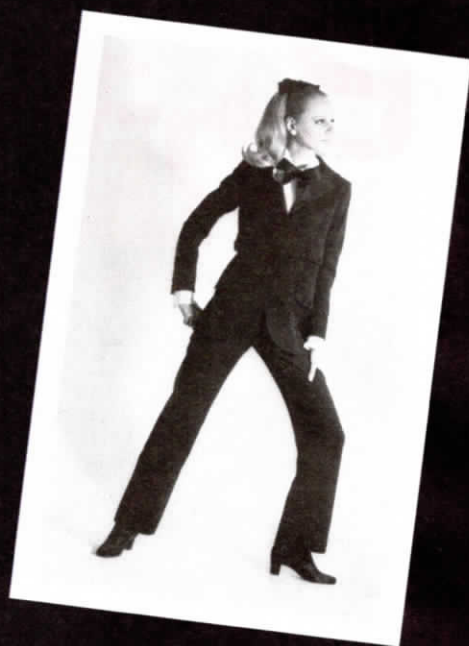
様々な役割・側面がある

非言語コミュニケーションについて学ぶ授業がありました。そこで、服装は職業を表したり、自己表現であったり、身を守るためだったりというんな役割があることを学びました。(神戸大/発達科学部/S-K先輩)

【まとめ】

表層的な部分だけを見て終わりにせず、複数の視点から切り込んで関係性を探り、背景や影響を考えていくこと。その積み重ねが教養になっていく。

After the Lecture



1966年に発表されたタキシードルック。女性の社会進出の流れを後押しした。

踏み込んで
考えていくことが楽しい

ファッション学は、歴史、政治、経済、ジェンダー、セクシュアリティ、社会、心理、コミュニケーション、メディア、環境など、複数の分野を横断する学際的な学問です。表層的なイメージだけでなく、それをとらえるのではなく、例えばそれが政治や経済、人の心理とどうかかわっているのかを考えてみると、社会の変化や時代の流れを、違った形でとらえられるでしょう。学びたいと思う人には間口は広く、切り口は無限にありますよ。

1

「1日1感動」を心がける

本や映画、通学途中で見かけた風景、友達と交わした会話、完璧に解けた数学の解法、何でもいいので、「1」と心が動くことに出会えるようにアンテナを張ること。

2

感動を自分の言葉で書き留めておく

1の「1」と感じたことを、感動の記憶が薄まる前に、できるだけ具体的に自分の言葉で書き留める習慣をつけること。「うれしい」「感動した」だけでなく、その中身となぜそう感じたのかを書くクセをつけましょう。その蓄積がもの見方を鍛えます。

3

「話しかけられやすい」人になろう

人と群れたり心を閉ざしたりせず、「話しかけられやすい」人になることを心がけましょう。そして、自分の思いを素直に伝える習慣をつけましょう。心をオープンにしていると、人との「縁」が生まれます。

18歳への 課題

表現力やモード(心の構え方)は、社会の中に自分を放り込むことで磨かれる——中野香織さんは18歳のきみにコレを勧める。